

# こころ

## 県P連だより

編集 徳島市北田 宮 1丁目 8-68  
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105  
徳島県PTA連合会

ホームページ  
<http://www.tokukenpta.com/>

### 子ども達が豊かな人間に育つ助けになるPTA活動！

徳島県PTA連合会会長 永 濱 浩 幸



平素は、徳島県PTA連合会の活動に多大なご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、西日本豪雨災害義援金へのご理解とご協力ありがとうございました。本年度も「単Pに近い県P」をスローガンに掲げ、役員一同、気持ちを一つにして活動してまいりました。子ども達を取り巻く環境は日々大変なスピードで変化し、少子高齢化、核家族化、価値観の多様化、情報通信技術の発達などに伴う「コミュニケーション力の不足」「メディアの多様化」「いじめ」「学力問題」など多くの課題や問題点が生じています。この環境の変化に家庭・学校・地域が対応していくには足並みを揃えなければなりません。家庭教育や学校教育の充実とともに、地域の教育力の活用も求められています。学校と地域のパイプ役であるPTAの果たす役割と期待はますます高まっています。

PTAは社会教育団体であり、社会教育の役割を担っている為、子ども達の社会に関するあらゆる分野での活動に関わることにあります。子ども達が豊かな人間に育つことを助けていることになるのです。日々、成長していく子ども達を見ているのは嬉しくもあり、楽しいものです。子ども達は、色々な事を乗り越えながら、今日も学校に通って楽しく頑張っています。そんな子ども達と一緒に成長してい



く私達保護者は、PTAという場で楽しく成長させて貰えるチャンスは子ども達から貰っているのです。その一つとして、徳島県PTA連合会が正会員として加入している公益社団法人日本PTA全国協議会主催の全国大会事業があります。本年度は、平成三十年八月二十四日(金)二十五日(土)第六十六回日本PTA全国研究大会新潟大会が開催されました。本県からも、県PTA役員をはじめ多くの会員が参加されました。大会スローガン、教育は未来を拓く新湯発 米百俵の精神!のもと、初日に新潟県内十ヶ所分科会、二日目に長岡市で全大会が盛大に開催されました。「米百俵の精神!」「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば、明日の一万、百万俵となる」と藩士を論じ、救援米を売り、国漢学校を建て、故郷の未来を教育に託した小林虎三郎の想いは深く心に刻まれ、全国から集うPTA会員と語り合うことで、教育、子育ての意義を再認識し、今後のPTA活動への意欲付けが出来ました。

### 平成三十年度 県教育長要望

十二月二十日(木)に永濱会長他四名の役員が県教育委員会を訪問し、教育長要望を小林課長に提出し具体的な内容について各役員から要望してきました。要望事項は、以下のとおりです。

- ① いじめ・不登校・体罰に関する問題と課題
- ② 防災・環境整備の促進
- ③ 児童・生徒の登下校や学校内における安全確保と不審者対策

本PTA全国協議会創立七十年記念式典が開催されました。式典には、皇太子殿下雅子妃殿下のご来臨を仰ぎ、また、衆参議員議長、文部科学大臣をはじめとした、ご来賓のご臨席を賜りました。式典の中で、皇太子殿下より、「PTAが教育の発展に果たした役割は大きい。七十年間に渡って子ども達の力を伸ばす為、たゆみない努力を続けてこられました。」とお言葉を頂きました。式典の中の表彰式では、PTA活動振興功労者文部科学大臣表彰・日本PTA会長表彰(団体)、(個人)、(特別)を徳島県からは、個人二十名、二団体が受賞されました。私個人も受賞させて頂きました。これも一重に、PTA仲間である皆様方のご理解と、ご協力のお蔭だと、感謝しています。本堂にありがとうございます。PTA活動に引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

子ども達の為に何かをしたいという、同じ思いを持った仲間が繋がるPTA活動は尊いものだと思ひます。「すべては、子ども達の為に」を合言葉に、ともに活動を進めてまいりましょう。

### 県P連総会

去る六月七日(木)県教育会館において、県P連役員・郡市代議員・受賞者の方々の出席のもと、平成三十年度定期総会が盛大に開催されました。

永濱浩幸会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた五団体と二十九名の方に表彰状と十二名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された十一校に表彰状が贈られました。その後、徳永忠士氏の受賞者代表謝辞へと進みました。

ご臨席の来賓六名の方を代表して県議会副議長 岩丸 正史様、県教育委員会生涯学習課



- ④ 高校入試通学区の見直し
- ⑤ 教育費の確保及び教員の適正配置や資質向上
- ⑥ 安全な食料の提供と食育指導
- ⑦ 中学校の部活動に対する改善
- ⑧ 特別支援教育の充実

統括社会教育主事 川野雅弘様からご祝辞をいただきました。議事に入り、平成二十九年度の事業報告・決算報告・監査報告を承認の後、平成三十年度新役員が選出され、次に平成三十年度努力目標、事業計画・予算案等についての協議が行われ、原案どおり承認の運びとなり、総会を終了しました。

### 平成三十年度 役員

会長 永濱 浩幸

副会長 森西 正典(名西)  
岡本 秀文(小松島)  
廣川 雅英(美馬)  
泉 富士夫

井本 友子 (役員会推薦)  
上野弘一朗 (役員会推薦)

賀川 實 (役員会推薦)  
豊田大之介 (県中学校長会副会長)

理事 瀬尾 陽子(板野)  
古里 健一(阿南)  
木川 郁生(勝浦)  
森本 達也(那賀)

監事 宮崎 克哉(阿波)  
原田 隼史(吉野川)  
前田 秀和(つるぎ)

顧問 多田 尚起(三好)  
徳永 忠士(鳴門)

広報委員長 加藤 文章  
研究委員長 小泉 文昭(海部)

総務委員長 永濱 浩幸(板野)

## ブロック別PTA活動紹介

## ～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

## 家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、板野郡P連、阿南市P連、美馬市P連です。

## 中部ブロック 鳴門市幼小中PTA連合会

会長 平松 芳健

鳴門市幼小中PTA連合会は、12幼稚園・13小学校・5中学校で構成されており、会員数は4,866名です。また、すべての単Pが、それぞれ事務局と常置委員会に所属し活動を行っております。

事務局では、理事会と各単Pの会長が集まる会長会を開催し、市P連を運営しております。また、常置委員会では、研修委員会と体育委員会の二つの委員会を設置しております。

理事会では、市P連の各役員の選出や年間行事を選定し、会長会では、諸問題を議論しながら決定しております。

研修委員会では、家庭教育研修会を企画し、徳島県環境アドバイザーの藤井園苗氏を講師に招き「家庭でできるエコな暮らし・これからの取り組み」と題した研修会を平成30年10月26日（金）に鳴門市板東小学校にて開催しました。また、県内・県外研修への積極的な参加の依頼も行っております。

体育委員会では、会員相互の親睦を図るため、スポーツ大会を企画し、多くの会員が参加する素晴らしい懇親の場として、夏に「バレー



ボール大会」冬に「綱引き大会」をアミノバリューホール（県民体育館）で開催しており、本年度の「バレーボール大会」は、平成30年6月30日（土）に男女混合9人制として白熱したゲームが展開されました。また、「綱引き大会」は、平成31年1月26日（土）に開催されました。このように単P間の親睦を図ることと単Pの一体感を育むことでPTAの活性化を促し、子どもたちが健やかに安心して学べる環境づくりに邁進しています。

また、本年度の自然災害による「7月豪雨のよる義援金」を9月より鳴門市内各単Pの皆様に募金を行った結果、大勢の方々のご協力とご支援をいただき、20万円を超える募金が集まりました。これもひとえに、災害被害は「明日は我が身」という意識が浸透した結果だと思っております。なぜなら、近年の少子高齢にともない地域から学校が無くなっている現実があるからです。これからはPTAと地域が手を取り合い活動して行くことが重要になると実感します。

PTAも70周年を迎え、時代背景が様変わりするなか「子どもたちが健やかに安心して学べる環境づくり」を目指し活動して参りますので、これからもご指導ご鞭撻賜りますよう鳴門市幼小中PTA連合会並びに鳴門市内各単Pをよろしくお願い申し上げます。



## 南部ブロック 小松島市PTA連合会

会長 岡本 秀文

小松島市PTA連合会は、現在、小学校10校、中学校2校で組織され、会員数は約2,000名です。主な事業として、5月に総会、7月に球技大会、2月に振興大会を開催しています。

本年度、球技大会はミックスバレーボールで7月1日（日）に小松島市立体育館で計12チームが参加して行われました。予選リーグは4チームずつの3つのリーグに分けて行い、決勝は3チームによる総当たりで行われ、小松島南中Bが接戦を制し見事優勝を飾りました。各チームともこの日に向けて各単Pごとに大会を開催したり、数校が集まって練習試合を行ったりするなどミックスバレーを通じて交流を図っています。

また、毎年2月に市P連振興大会を開催し、今年度で60回目を迎



えます。今年度PTA活動にご尽力された方々への感謝状贈呈式の後、記念講演会が行われます。本年度は防災をテーマに、小松島市市民環境部市民生活課に勤務され、防災士の資格を拝受されている工藤素子さんに「これならできる 目からウロコのラクラク防災」と題してご講演を頂きます。小松島市は南海地震において津波の甚大な被害が予想されます。もしもの時に備え、すぐにできる小さな行動や地域の信頼関係を築くためのPTA活動など、防災に強い町づくりについて共に考える時間にしたいと考えています。

PTAの会員数を見ますと、10年前は約3,000名いた会員が、現在では2,000名に減少しています。これから先も、まだまだ減少傾向にあり、中学校は以前3校あったのが2年前より2校となり、小学校も現在は11校あるのが数校に再編されるとの話が持ち上がっています。小学校の多くは、築年数がかなり経過し、耐震工事の必要性にも迫られており、南海地震との関係で喫緊の課題となっています。



（昨年度振興大会の様子）



## 西部ブロック 阿波市PTA連合会

会長 宮崎 克哉

阿波市PTA連合会は、平成17年の4町合併による阿波市の発足とともにスタートしました。現在、10小学校、4中学校で構成されています。各単位PTA活動もそれぞれが工夫して、活発に活動をしています。

阿波市PTA連合会では毎年、会員の健康増進と交流・親睦を目的としたソフトバレーボール交流会を開催しています。市内の小中学校14校が3つのブロックに分かれてリーグ戦を行います。選手は子どもたちや参加者の声援を受けて、日頃の運動不足の解消や保護者間の交流を深めています。本年度は、開催時期の7月末に、異常な高温の日々が続いたため、会員や応援にきた子どもたちの体調を考慮し、中止としましたが、来年度以降は開催時



期にも配慮しながら、PTAどおしの交流がより深まり、PTA活動がさらに活発になるような取り組みを検討してまいりたいと考えております。

また、阿波市教育会を後援して、8月には「教育講演会」を開催しています。毎年、多彩な講師を招いて、家庭教育の在り方や今日的な教育の課題をどのように解決していくか等について、保護者へ啓発する機会としています。本年度は、阿波市出身の教育研究家・文部科学省委嘱学校業務改善アドバイザーである妹尾昌俊氏を講師に迎え、「21世紀を生きる子どもたちに育みたい力」と題して、たいへん有意義な講演をいただきました。今後とも、阿波市PTA連合会が主催した研修会も積極的に実施しながら、PTA会員の親密な連携をはかり、家庭・学校・地域社会における児童生徒のすこやかな成長に少しでも役立てるような活動をしていきたいと考えています。



十二月十六日(日) 藍住町民シアターで県P連家庭教育研修会が開催されました。研修会に先立って三行詩コンクール徳島県優秀作品の表彰式が行われ、賞状と記念品が受賞された方に贈られました。表彰式と研修会に來賓として、徳島市・名東郡PTA連合会 佐藤 恭規会長の臨席を賜りました。

研修会は、「一人ひとりがみんな大切」「子どもの心に気づくとき」という演題で絵本作家のくすのきしげのり先生に講演をいただきました。二百名あまりの参加者で会場がいっぱいになり、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。参加者から「心があたたくやさしくなるお話でした。子どもがあらがれる姿を見せたい。」「大人は子どもの環境であるということは、説得力がありました。」「私たちが子どもの環境であるとの自覚を持ち生きたい。」などの感想が寄せられました。

## 三行詩コンクール徳島県優秀作品表彰式と家庭教育研修会

### 「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

### 三行詩コンクール県内優秀作品

#### 小学生の部

ぎゅーしてと こどもあまえる おやも じゅうでん

御所小学校

一年 横田 智哉

手をつなぎ かぞくのきずな ふかめよう

石井小学校

三年 近藤 ひな

テレビ消し 家族の会話が おいしいおかず

羽ノ浦小学校

五年 鈴木 心

耳をすました そしたらとつくんとつくんと音が聞こえた

お母さんのおなかをさわると 何か動いている 生命って凄い

吉井小学校

五年 谷岡 夏海

一日のいき事 話そう 晩ご飯

吉井小学校

六年 湯浅 茉衣

#### 中学生の部

かけるのは迷惑ばかり 本当はかけたい感謝の言葉

那賀川中学校

三年 知賀 七海

いつもいつも ありがとう

反抗期 親の顔みたら はらがたつ

那賀川中学校

三年 谷口 政光

ありがとう いつもいいたい でもいえない

那賀川中学校

三年 三好 杏

家庭とは最後の頼みの綱として

何でも話せる場所 24時間営業中

脇町中学校

三年 平岡利沙

ためこむな 一人でなやむな おちこむな

上板中学校

三年 上原 多喜

#### 一般の部

時間かけ あれこれと作った料理 あつという間にたいらげて

小松島中学校

宮城 愛

「次 何食べる？」という息子

松島小学校

松尾 恵子

スマホやゲームもいいけど もっと知りたいな 今のあなたのことを

北島南小学校

藤田 晶子

## 日本PTA全国協議会 国内研修事業 in 渡嘉敷村

### 国内研修で学んだこと

阿南市立新野中学校

新居まひろ



私は国内研修に行き、多くの事を学び考えました。

一日目は同じ空港に集まった子たちと飛行機に乗り、不安と心配を感じながら渡嘉敷村へと向かいました。初めての渡嘉敷村の海を目のあたりにした時には自分からも、周りからも感嘆の声が聞こえたことを覚えています。

二日目・三日目には、同じ班となった子たちやリーダーと共に様々な活動をしました。平和学習では美しい海や自然豊かな村にある、悲惨な過去について学びました。多くの人が亡くなり、苦しい戦争のことをこれから先私たちが語り継いでいくと心に決めました。また、海洋研修場では野外炊事やマリンスポーツをしました。野外炊事では、予想外の出来事が起こってしまったものの、それがきっかけとなり班の仲がぐっと縮まりました。マリンスポーツでは渡嘉敷の美しい海に入り、皆と楽しく泳ぐことができたと思います。三日目にあった村内散策では自分の町との違いや、渡嘉敷村の住民の優しさを感じることができました。ワークシヨップで三線を演奏した時は難しく苦戦はしたものの楽しくすることができ、良い思い出

出となりました。

三日目から四日目にかけてのテント泊では仲間と協力することの大切さを学びました。また、夜に班の仲間と一緒に泣きながら話し合ったことが心に残っています。

この研修で、何事にもチャレンジすること、仲間の大切さ、自分から進んで様々なことに取り組む姿勢が必要だということを知りました。国内研修に行くまでに気づけなかった自分の可能性にも気づき、本当にこの研修に来て良かったと心から思いました。

私が研修から学んだ事は自分の将来に役立てると共に、自分の学校や周りの人にこの経験を伝えていきたいと思っています。



### 渡嘉敷島での五日間

美馬市立脇町中学校  
藤川 佳歩



私はこの国内研修で数え切れないほど多くのことを学

びました。仲間の大切さやチームワークの重要性など、この国内研修に参加できたからこそ分かったことがいっぱいあります。

野外炊事や渡嘉敷島ワークシヨップでは、班のメンバーと一緒に協力しながら、カレーを作ったり魚さばきをしたりしました。みんなで声をかけあいながら、一つのことをやり遂げることで仲間との絆が深まったことを強く感じました。

村内散策や島んちゅとの大交流会では島の人たちの優しさを知りました。道に迷ってしまっていたら声をかけてくれたり、私がさばいた魚を食べて「すごくきれいにさばけているね。」と言ってくれたりしました。その時、私はうれしさと胸がいっぱいでした。

最初はとにかく不安と緊張でいっぱいだったのに一日一日たつにつれて、初日の不安と緊張がうそのように思えてくるほど、楽しくて仕方がありませんでした。初日は「はじめました」の人ばかりだったのに、最終日には涙を流して別れを惜しむほど、仲良くなれました。これからは、何事にもチャレンジしていく積極性を磨いていきたいです。本当にありがとうございました。



### 小・中学生総合保障制度 WG・NGプランの場合 個人賠償 国内無制限補償

自転車事故等による損害賠償責任も対応。国内で発生した事故に関しては、示談交渉サービスもつきます。国外で発生した事故は3億円が限度となります。

- ケガは 24 時間補償
- 健康・医療相談サービス付き
- 熱中症や細菌性食中毒にも対応

簡単支払特急便

お電話一本で  
スピーディーに保険金をお支払い



※詳しい内容はパンフレットをご覧になるか取扱代理店にお問い合わせください

【引受保険会社】A I G損害保険株式会社 【取扱代理店・扱者】株式会社テーアイエス TEL:088-622-7151 〒770-0852 徳島市徳島町 2-22 TIS ビル 2F 担当：奥野・山田

## 栄えある全国表彰

十一月二十一日（水）東京のホテルニューオオタニに於いて皇太子殿下、同妃殿下のご臨席のもと日本PTA全国協議会表彰式が行われました。本県関係の受賞者は次の通りです。心よりお喜び申しあげます。

また、本県から十三名の方が表彰式に出席されました。

文部科学大臣表彰・個人

県P連会長 永瀨 浩幸（藍住東中P）

日本PTA全国協議会会長表彰・団体

神山町立広野小学校PTA

阿南市立羽ノ浦小学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰・個人

県P連副会長 井本 友子（羽ノ浦小P）

県P連副会長 上野弘一朗（勝浦中P）

県P連前理事 橘 秀晃（半田中P）

県P連前研修委員長 遠藤 祐美（横見小P）

日本PTA七十周年特別表彰

徳永 忠士（鳴門） 平松 芳健（鳴門）

野口 真（鳴門） 木内 広樹（板野）

稲井めぐみ（板野） 杉谷 学（名西）

森川 融（小松島） 桑田 祐二（小松島）

松江 剛嗣（阿南） 清田 和史（阿南）

大田 弘士（海部） 阿部 勉（阿波）

大湾 晃（阿波） 後藤 康夫（吉野川）

長江タミ（美馬）